

## 3病棟

病床数：60床

診療科：外科、消化器内科、婦人科

### 明るく・笑顔で・丁寧なおもてなし

消化器内科は検査や内視鏡治療を受けられる方から終末期患者さん、外科は周手術期の患者さん、婦人科は周手術期から化学療法の患者さんと、さまざまな病気の患者さんが入院されています。

術後の患者さんには、退院後の生活を目標に一緒にリハビリを行い、化学療法や終末期の患者さんには思いに寄り添うような看護を目指して頑張っています。定期的に、看護師同士や多職種を交えたカンファレンスを行い、共通した方向性で患者さんがよりよい治療を受けられるようにしています。スタッフ全員で、明るく、笑顔で、丁寧な対応でのおもてなしができるよう声を出し合い、協力を大切にしている病棟です。



1年目看護師  
上田 愛

### 患者さんからの「ありがとう」が成長の証

私の配属された病棟は消化器内科・外科と婦人科の混合病棟です。私達は、患者さんの入院前の生活背景を把握し、病状の変化に合わせて、不安なく退院できるように、個別性のある援助を行っています。また、身体面だけでなく精神面での支援も行っています。

最初の頃と比べて、できる看護技術が増えてきたことや、退院の際に患者さんの笑顔や患者さん・ご家族の方からの「ありがとう」と言葉を掛けられることは、とても嬉しく、私自身が成長できていると感じられています。



プリセプター  
(3年目看護師)  
菅 葉月

### プリセプティーと一緒に成長

私は消化器外科・内科・婦人科の混合病棟で働いており、プリセプターをしています。私自身、看護師として未熟でプリセプターをすることになった時は不安がありましたが、プリセプティへの支援は、チームみんなと協力し、コミュニケーションをとるようにしています。プリセプティが安心してゆとりを持って看護を行うことができるように心がけて関わっています。プリセプティが初めて行う看護技術が上手に出来た時は、自分のことのように嬉しいです。今後も、プリセプティと一緒に私も成長できるように頑張ってお手伝いしたいと思います。